

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【公表番号】特表2013-515100(P2013-515100A)

【公表日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報2013-021

【出願番号】特願2012-544954(P2012-544954)

【国際特許分類】

C 08 G 69/26 (2006.01)

C 08 L 77/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 69/26

C 08 L 77/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月27日(2013.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) 群(I)のポリアミドからなる群から独立して選択されるポリアミド樹脂であって、

前記群(I)のポリアミドは、少なくとも260の融点を有し、および

(a)(i) 8個から20個の炭素原子を有する芳香族ジカルボン酸および4個から20個の炭素原子を有する脂肪族ジアミン

からなる群の1種または複数種から選択されるモノマーから誘導される95モルパーセント超の半芳香族反復単位; と

(b)(ii) 6個から20個の炭素原子を有する脂肪族ジカルボン酸および4個から20個の炭素原子を有する前記脂肪族ジアミン; および

(iii) 4個から20個の炭素原子を有するラクタムおよび/またはアミノカルボン酸

からなる群の1種または複数種から選択されるモノマーから誘導される5モルパーセント未満の脂肪族反復単位; と

を含む、ポリアミド樹脂;

B) 0重量パーセントから60重量パーセントの1種または複数種の補強剤; および

C) 0重量パーセントから50重量パーセントの、反応性官能基および/またはカルボン酸の金属塩を含む1種または複数種のポリマー強化剤

を含む熱可塑性組成物であって;

前記重量パーセンテージは、前記熱可塑性組成物の全重量に基づき; 前記ポリアミド樹脂は、少なくとも約50meq/Kgの酸末端を有する熱可塑性組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

ポリマーCは、マスター バッチ溶液が、7.0 kgの水、6.3 kgの2-メチル-1,5-ペンタメチレンジアミン、2.6 kgの水中28重量パーセントの酢酸、および1.5 gのCarbowax 8000であること以外、ポリマーBと同じ処方および同じ重合法の条件を用いて作製した。

以下に、本発明の好ましい態様を示す。

[1] A)群(I)のポリアミドからなる群から独立して選択されるポリアミド樹脂であって、

前記群(I)のポリアミドは、少なくとも260の融点を有し、および  
(a)(i)8個から20個の炭素原子を有する芳香族ジカルボン酸および4個から20個の炭素原子を有する脂肪族ジアミン  
からなる群の1種または複数種から選択されるモノマーから誘導される95モルパーセント超の半芳香族反復単位；と

(b)(i)6個から20個の炭素原子を有する脂肪族ジカルボン酸および4個から20個の炭素原子を有する前記脂肪族ジアミン；および

(iii)4個から20個の炭素原子を有するラクタムおよび/またはアミノカルボン酸  
からなる群の1種または複数種から選択されるモノマーから誘導される5モルパーセント未満の脂肪族反復単位と；

を含む、ポリアミド樹脂；

B)0重量パーセントから60重量パーセントの1種または複数種の補強剤；および

C)0重量パーセントから50重量パーセントの、反応性官能基および/またはカルボン酸の金属塩を含む1種または複数種のポリマー強化剤  
を含む熱可塑性組成物であって；

前記重量パーセンテージは、前記熱可塑性組成物の全重量に基づき；前記ポリアミド樹脂は、少なくとも約50 meq/Kgの酸末端を有する熱可塑性組成物。

[2] 前記ポリアミド樹脂が、少なくとも約60 meq/Kgの酸末端を有する[1]に記載の熱可塑性組成物。

[3] 10重量パーセントから60重量パーセントの1種または複数種の補強剤を含む[1]に記載の熱可塑性組成物。

[4] 2重量パーセントから20重量パーセントの、反応性官能基および/またはカルボン酸の金属塩を含む1種または複数種のポリマー強化剤を含む[1]に記載の熱可塑性組成物。

[5] 前記ポリアミド樹脂が、ポリ(ヘキサメチレンテレフタルアミド/2-メチルペンタメチレンテレフタルアミド)(PAT/DT)である[1]に記載の熱可塑性組成物。

[6] ポリ(ヘキサメチレンテレフタルアミド/2-メチルペンタメチレンテレフタルアミド)反復単位の比率が50/50である[5]に記載の熱可塑性組成物。